

要点録

会議名	令和7年度第4回 多摩市地域福祉計画推進市民委員会
日時	令和8年1月19日(月) 午後6時～午後8時
場所	多摩市役所301会議室
出席者	委員：室田委員、鈴木委員、千葉委員、小山委員、荒井委員、鳶田委員 欠席：中村委員、畔上委員 事務局：伊藤健康福祉部長、松崎福祉総務課長、川添福祉総務担当主査、中村福祉総務担当主査、大釜、海老澤
欠席者	なし
次第	1. 再犯防止推進計画(原案)について 2. 多摩市地域福祉計画(原案)の確認
会議内容	
委員 事務局	1. 再犯防止推進計画(原案)について 事務局より、資料1～5に沿って説明 P9は前頁の再掲では。再掲と記載すべきでは。 修正する。
委員長	再犯防止推進計画と地域福祉計画との関連について、犯罪歴のある人を地域でどのように受け入れていくか、差別や偏見の解消に結び付く部分があるのではないかと。 現在の地域福祉計画は学校教育との関連が深いと、地域と連携した教育にはあまり関連がないように思われる。
委員長 事務局	社会を明るくする運動の具体的な取組とは？ 講演会や街頭活動などを実施。幅広い対象に向けて周知ができるように検討している。
委員 事務局	街頭活動については、実効性を精査の上、啓発方法を考えていかないといけない。 方法は保護司会とともに検討しているところ。 たま広報による周知は、被害者感情の面から掲載しづらいが、3年前から徐々に周知してきている。その他、聖蹟桜ヶ丘駅ショッピングセンターC館7階のスペースで周知している。
委員長 事務局	2. 地域福祉計画(原案)について 事務局より、資料7に沿って、重層的支援体制整備事業の趣旨や事業内容を説明 計画の推進体制は、社協とのアウトプット・アウトカムとの連携に見えるため、地域福祉計画との連携として修正すべきではないかと。 修正する。
委員	35ページの「共助」について、7ページにも共助の記載があるが、定義は異なると思われる。 55ページの介護分野における「資質の向上」について、介護分野では人手不足が深刻で、非正規雇用が増加傾向にある。このような状況では「質の向上」を強調する表現は、現状と乖離して

事務局	<p>いるように感じられる。</p> <p>35 ページの「共助」について、7 ページの「共助」と定義が異なるため、注釈を付記する。</p> <p>また、55 ページについては、将来的な計画であることから、理想像を掲げているが、現状は認識している。記載の修正可否は所管課と調整する。</p>
委員長	<p>30 ページのアウトカムとアウトプットへの説明について、目標指標は増加傾向である必要はなく、縮小に向けた目標設定も必要な視点であると思う。継続可能な形での取り組みも必要である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>